

若さで地域盛り上げ 南方改セで市青年文化祭

「登米市青年文化祭」(市青年文化祭実行委主催)は2月11日、南方環境改善センターで開かれ、市内の若者たちが郷土芸能などを披露し、来場者を楽しませました。青年文化祭は、市内青年たちの活動発表を通じて、豊かな地域社会を創造するのが目的。舞台は、地元大嶽山観音太鼓で開演。佐沼鹿踊り、豊里風太鼓やのど自慢大会などに、客席から盛んに拍手が送られました。のど自慢大会で「ダンシングヒーロー」を熱唱した地紙未来さん(16)＝南方町大門＝は「楽しんで歌えました。楽しめるイベントなので、若い人たちが多く集まれば、もっと盛り上がると思います」と話していました。



のど自慢大会では、市内の高校生たちが大活躍。歌だけではなく振り付けも披露し、会場を盛り上げました。

地域資源活用が評価 伊豆沼農産が振興部門賞

第6回富県宮城グランプリで、伊豆沼農産が「みやぎの食」振興部門賞を受賞し、市役所迫庁舎に同社の伊藤秀雄代表取締役が受賞報告に訪れました。富県宮城グランプリは、産業の発展や地域経済の活性化への貢献が顕著な企業・団体・個人を表彰。伊豆沼農産は「伊豆沼ハム」などの海外輸出、伊豆沼のハスを使った化粧品など、地域資源を生かした商品開発、食農体験などで都市部からの誘客などが評価されました。伊藤代表取締役は「地元からの推薦で受賞できうれしい。食と農は厳しい環境ですが、新しいビジネスモデルを構築していきたい」と意気込みを語りました。



熊谷市長に受賞の喜びを報告する伊藤代表取締役(写真左)。本年度は、県内各市町村から16件の推薦があり5団体が受賞。

パパまた料理してね 子育て世代男性料理講座

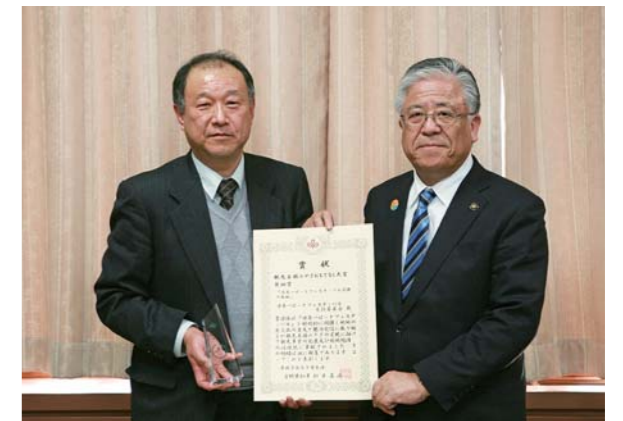
子どもと一緒に男性料理講座「必見！家族にモテるパパになる！～うちのパパは料理上手～」は2月17日、迫公民館で開かれ、小学生とその父親5組が参加し、料理と家事検定に挑戦しました。講座は、子育て世代の父親間で家事分担の必要性を感じてもらうことが目的。親子組は栄養士の指導で、米粉ピザとクリームシチューを調理。慣れない手付きながらも、親子で料理を楽しみました。小野寺政彦さん(41)＝中田町本町畑中＝は「妻の勧めで参加しました。料理の大変さを知りました。今後は子どもたちと厨房に立ちたい」と意欲を見せていました。



慣れない手付きで、ピザに具を乗せる参加者。出来上がった料理は格別の味で、試食では「おいしい」と満足の声が聞こえました。

食文化発信が高評価 はっとフェス奨励賞受賞

「平成29年度観光王国みやぎおもてなし大賞」奨励賞を受賞した、日本一はっとフェスティバル実行委員会の飯塚哲朗委員長が2月6日、市役所迫庁舎を訪れ、熊谷市長へ受賞の報告をしました。観光王国みやぎおもてなし大賞は、県が平成27年度に県全体の「おもてなし」の充実を目的に創設。同奨励賞は、観光での地域活性化モデルとなる優れた取り組みに贈られます。日本一はっとフェスティバルは、平成16年から開かれ、毎年2万人を超える来場者が全国の「はっと料理」を楽しむ、冬の一大イベント。本年も、12月2日に開かれることが決まっています。



飯塚委員長(写真左)は「取り組みが認められうれしい。今後も登米市の「はっと」継承のため頑張りたい」と意気込みました。

感謝を胸に飛び立つ 市内の小中学校で卒業式

市内の小中学校で卒業式が行われ、卒業生はそれぞれの学校生活の思い出を胸に、共に過ごした学びやを後にしました。このうち佐沼中学校(小野寺文晃校長、生徒472人)卒業式は3月9日に行われ、保護者、在校生、教職員や来賓が見守る中、176人(男子91人、女子85人)が卒業しました。式では国歌斉唱に続いて卒業証書を授与。小野寺校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生代表で答辞を述べた米倉知希さんは「中学校生活の3年間は貴重な時間でした。支えてくれた皆さんに感謝します」と感謝の気持ちを表しました。



卒業証書を受け取る卒業生ら。小野寺校長は「君たちに最後の宿題を出します。みんな幸せになれ」とエールを送りました。

新歴史の発信に向け 新懐古館工事の安全祈願

「(仮称)新登米懐古館新築工事安全祈願祭」は2月6日、登米町寺池桜小路の建設予定地で開かれ、関係者ら約40人が出席し、工事期間中の安全を祈願しました。1961(昭和36)年に建設された登米懐古館は、旧登米町の名誉町民の渡辺政人さんから寄贈されたもの。以来57年間、登米伊達家ゆかりの品々など200点を越える歴史的価値の高い文化財を展示、収蔵してきました。近年、施設の老朽化が著しかったことから、移転し整備することとなりました。新懐古館は、鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積が約824平方メートル。総工費は約7億7千万円で、平成31年9月ごろ完成予定です。



熊谷市長らがくわ入れをし、工事中の安全を祈願。新懐古館は、新国立競技場を手掛ける隈研吾建築都市設計事務所が設計。